

『お金を払って学校で学ぶのもいい。

だけど、お金をもらってぶにせ家で

学ぶものもけっこうある。』

『こんな店では働きたくない!』

そんな風に笑いながら店長に言える。

時々ケンカしながらも、みんな長ーく長ーく働いて、

卒業しても、嫁に行ってもなぜいまだに遊びにくるのか?

いったいぶにせ家ってどんな店なんだ!?

《お母さんは、赤ちゃんの泣き声だけで

ミルクやおむつを聞きわけます。》

ぶにせ家はサービス業です。

サービス業はお客様に様々なサービスを提供してそれがお金に変わります。

ではサービスとはなんだろう?

言葉の話せない赤ちゃんの泣き声一つでミルクやおむつを察してあ

げるお母さんの気持ちのようなものだとは思います。

『何をすればよろこんでもらえるのか?』

『今、何をしてほしいのか?』

この気持ちはサービス業に限らず、その他の業種の仕事や、人とのコミュニケーション。全てに通じるものだとは思います。

《あのハゲ店長は、はっきり言って「うざい」です。》

店長は口やかましいです。ダラダラしてると、メガトンパンチが飛びます。自分で考えて行動しないとライダーキックで流血です。

でも、愛のムチです。(たぶん)

仕事を学びの機会と思って目的を持って働く人と、そうでない人とでは大きな差ができてしまいます。ですから店長はバイトといえども容赦はしません。『思いやりといい返事』をうるさく言われます。

でも本当は気が小さくて、みんなの前では怒ってるのですが、後で呼び出して

『ごめんね。』なんて土下座してるようです。

ちょっと厳しいこと言っておいていまさらですが、

そんな『ぶにせ家』でいっしょに働きませんか?

甘い言葉で誘っておいて、後で"こんなはずじゃー。と泣かれないように
さきにこんな話でもお話ししておきたかったのです。

《最初は不安だろうけど、君ならきっと大丈夫。》

あなたの不安な気持ちはわかります。

もしアルバイトが初めての経験ならなおさらでしょう。

私もそうでした。どんな風に接したらいいか解らずすごく緊張しました。
はじめて飲食業界でバイトした20年数年前は気合が入りすぎて、熱が出
ました。(とほほ・・・)

でも大丈夫です。一緒に働く人はみんな言葉は厳しいけれど、(それは
店長だけ。)くそ真面目な人ばかりです。あなたが同じように一生懸命な
人なら徹底的に面倒をみます。ぶにせ家はそんな人ばかりです。

《こんないいお客さんに恵まれて、感謝です。》

開店依頼お客さん同士のもめごとや、そんな緊迫した場面は一度もあり
ません。お客さんもみんないい人ばかりです。本当にどういうわけか紳
士的(素敵なしディと)な人が集まってきます。とてもお客さんに恵まれ
ています。もしかしたら、そんなお客さんに教わることのほうが多いかも
しれません。

《サービス業の最高の喜びって？》

サービス業の喜びとおもしろさは最終ユーザーであるお客様の反応が目の前で見えるということです。これは製造業や、中間の職業では味わえないものだと思います。それは失敗すれば叱られます。でも、お客様のことを思いやって、心使いをすればよろこばれます。その時の喜びを感激をあなたにも味わってもらいたいです。

お客様に『ありがとう。』と言われるよろこびを。

だれかがあなたの心使いを見ていてくれます。

だれかがあなたの一生懸命を見ていてくれます。

《お金をもらって、ついでに色々経験しちゃえばいい。》

ぶにせ家で働いていろいろと学んでください。特に人に喜ばれることについて学んでください。考えて下さい。

『今何をしたらよろこばれるか。』

『自分ならどんな風にされたいか。』

これはなにもサービス業に限ったことではありません。

人間関係や恋にも通じる宝を捜し出しましょう。

ぶにせ家で働く事は、きっとあなたにとって無駄な時間にはならないはずで

そうやって何人もの人が巣立って行きました。そして卒業しても、結婚しても時々遊びに来ます。大人げなく（おれか！）本気でけんかもしただけどみんなしっかり思いを受け止めてくれました。

《思いをともにしてがんばるあなたが必要です。》

長い話になりました・・・。歳をとると説教臭くていけません。

最後に、私からメッセージです。

『料理もサービスもすべて思いから生まれます。思いをともにするあなたを待っています。』

《ちょっと真面目になりすぎたかな。追伸です。》

とにかくそんなに深く考え込んでも何も始まりません。

考えているより行動です。

ちょっとでも興味を持ってくれた人は、気軽に声をかけてみてください。

それでは、よろしく願います。

アデュー！！